

平成 18 年度 建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

日 時 平成 18 年 5 月 10 日（火） 16 : 00～17 : 00

場 所 7 号館 建設工学科会議室

出席者 小葉竹学科長ほか

資 料

改組後の一年次開講「物理学実験」の実施体制メモ

議 題

●報告事項

- (1) 本学科の学習・教育目標に照らして、一年次からの物理学教育は極めて重要であるとの認識に立ち、他学科の動向はいずれにしても、本学科の一年次開講「物理学実験」の内容については、従来どおり実施する方針となった旨の報告があった。

●協議事項

- (1) 6 月 17 日の編入学試験に関連して、今年度も昨年度と同様に、編入学試験で合格した者の学修履歴を点検し、本学科の第二学年までに履修すべき必須科目の内容と不整合がある場合には、入学前に個別の学習指導を行うことが確認された。

以上

平成 18 年度 建設工学科 教室会議（教育プログラム関連） 議事録

日 時 平成 18 年 8 月 25 日（金） 16：00～17：00

場 所 7 号館 建設工学科会議室

出席者 小葉竹学科長ほか

資 料

群馬大学工学部ベストティーチャー選抜要項（案）

議 題

●報告事項

(1) 全教員に作成をお願いしている「自己評価点検書」の趣旨について，教育・研究・社会貢献・管理運営の各分野に関する教員個人の業績評価を行うものであるとの説明があった．未提出者について今月末までに提出との確認があった．

●協議事項

(1) 大学内 F D の取組みの一環として，工学部内にベストティーチャー賞を設ける旨の提案がなされていることが報告され，了承された．

以上

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2006 年 12 月 15 日 16 時～18 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 渡邊, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 金井, 李

議事内容

■大学院入試判定 (辻)

- ・大学院冬期入学試験結果の判定を行なった。

■学科関係 (小葉竹)

- ・来年度 4 月 1 日付教員配置表の表現について
分野名 : コンクリート工学分野、地盤工学分野、環境工学分野、流域環境学分野、災害社会工学分野
教員配置 : 従来通り、校費配分方式も従来通り
- ・李先生の助教昇格 : 本人・学科とも了承
- ・リュブリャーナ大学との国際交流協定について : 問題なし
- ・研究生、聴講生等の入学金について : とくに意見なし
- ・次回教室会議 : 1 月 9 日 (火) 16 : 00 ~

■来年度の 2 年生「技術英語」改訂 (若井)

- ・英語プレゼンテーション演習の導入 : 授業の後半部分のメニューとして「学修原論」でまとめた
班別の成果を題材にして英語 PPT 発表を目指す (班毎).
- ・前半部分の講義担当者の変更 : [現行] 辻・鶴飼・渡邊・小葉竹・片田・清水
[来年] 辻・鶴飼・渡邊・小葉竹・片田

■J A B E E 関連 (渡邊・若井)

- ・自己点検書の執筆分担 : 学務委員案がそのまま了承された。
- ・第一次原稿締切 : 2 月 26 日 (月) に教室会議を開催するのでその時に持参。

■教育改革 (半井)

- ・アンケート : 1 年生の分をまとめて後日あらためて報告する (半井).
- ・教養科目と専門科目の連携 : 新入生へ配布された冊子入手し、教養科目の内容を確認する (李).
教養科目の内容検討担当者を決定する (李).
- ・学生実験 : 次年度の内容検討を 12 月 28 日に担当者で行う。
- ・卒論・修論の表彰制度 : 本年度から行うことを計画し、次回正式提案。(半井)
受賞学生から希望があれば国際会議参加補助を行う方針。義務化しない。
- ・高専への宣伝 : 修士受け入れ実績がある高専へ、学科長から正式に申し入れ。

■入試委員会より (及川)

- ・センター英語リスニング説明会 (ご案内) : メールでセンター監督者一覧を送付済み

■迷惑メール対策 (伊藤)

- ・19 年度の名称変更に合わせてメールアドレスを変更する。

■その他

- ・卒論審査会と修論審査会の日程を入れ替え、卒論 2/19, 修論 2/15 とする。
修論が先の方が、卒論生の参考になる、修論生が卒論を手伝えるので。

以上

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 1 月 9 日 16 時～18 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 鶴飼, 渡邊, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 松本, 蔡, 李

議事内容

■入試関連

- ・平成 19 年度大学入試センター試験桐生地区担当者打合せ会議
- ・センター試験のリスニング説明会
- ・入学試験実施に係るチェック体制案について
- ・大学院の二次募集について

■学科関係

- ・大学院の講義内容の原稿内容の確認.
- ・博士前期課程へ指導教員の申し合わせについて
- ・部局化に伴う教員定員配置の確認
- ・教員評価の今後の進め方についての意見交換
- ・裁量労働制について
- ・卒論生 1 名の卒業論文発表会を 2 月 13 日に行うことを承認
- ・平成 19 年度学科長は、18 年度に引き続き小葉竹が行う

■教育改革

- ・教養科目と専門教育科目との連携については、化学に関しては伊藤先生が検討中、その他は特に問題なし。「教養教育授業案内」の冊子は李が所有しているので閲覧可能.
- ・学生実験：次年度の内容検討の第 2 回目を本教室会議後に行い、次回の教室会議で説明予定.
- ・アンケート：全体の集計結果は回覧の通り。ご意見があれば半井まで.
- ・高専への宣伝：4 月頃までを目安として高専学生への宣伝活動を依頼する申し入れを学科長が行う.
- ・卒論・修論の表彰制度：本年度から、表彰を行う方針として、詳細内容について議論を行った.

■資格認定

- ・学科名改称に伴い、下記の資格の認定継続について、調査および申請を行う。
測量士補, 土木施工管理技士, 建築士

以上

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 2 月 6 日 16 時～18 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 鶴飼, 渡邊, 清水, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 金井, 松本, 蔡, 李

議事内容

■卒業研究発表会（鶴飼）

- ・ファイルをメールで回覧するので修正点があれば連絡。

■工学部キャンパス整備・利用計画（清水）

- ・面積課金について。

■卒論・修論優秀発表者規程（半井）

- ・規程案の説明を行い、下記について確認することを前提に、内容が承認された。
- ・国際会議助成は上限を 20 万円とする。科学技術振興との組み合わせも検討する。
副賞に関しては、小葉竹先生を通して、同窓会に相談。

■社会環境工学実験（半井）

- ・実施内容の具体案の提案がされ、下記について十分な配慮や検討をして準備を進めることになった。
グループ単位だけでなく、個人の評価もきちんとすること。
会社設立、入札、積算などの作業の必要性を再検討し、負担は最小限にすること。
新形式で行う場合には、水理も含めて、全体で足並みをそろえること。
新年度のスタートのスケジュールをしっかりと管理すること。
実験の前諮問や後諮問を行うことなど、他の方法による実験の充実化も考えること。

■卒論・修論

- ・スケジュールは、これまでと同じく下記の通りとなる。各研究室で学生に連絡する。
卒論：要旨を前日までに事務室に提出。本年度は 16 日（金）16 時 30 分。発表当日に、研究室ごとに概要のコピー冊子を作成して配布。卒論もあわせて回覧する。卒論自体の正式締め切りは、各研究室で対応。
修論：要旨を前日までに事務室に提出。発表当日に、研究室ごとに概要のコピー冊子を作成して配布。
修論は、発表の 1 週間前に、主査および副査に提出。本年度は、8 日。修論最終版の正式締め切りは、各研究室で対応。
なお、次年度は、下記の案について検討を行う。（本年度は従来どおり）
要旨に図を入れられる形式にする。（伊藤先生提案）
卒論・修論として提出するのは、6 頁程度にまとめ、外部にそのまま提出できる形式にする。

以上。

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 2 月 15 日 14 時半～16 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 鵜飼, 片田, 渡邊, 清水, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 金井, 松本, 蔡, 李

議事内容

■修士論文判定

- ・判定が行われ、問題が無いことが確認された。

■修士論文発表者賞

- ・採点結果および主査からの意見により、最優秀発表者 1 名、優秀発表者 2 名が決定した。

■学科全体

- ・桐生高校高大連携理科教育に協力する研究室は、建設工学科としては、片田研究室。
- ・19 年度に行われる、大学院入試の推薦枠について、議論を行った。
- ・助教になれない教務員の採用、および大学院生を職員として採用できるか、の 2 点について学科の意見をまとめた。学科としては教務員採用の原則を守る、という立場である。

■入試委員会

- ・私費留学生入試の面接官について
- ・後期日程入試の面接官について

■その他

- ・下記について報告等があった。
 - 3/6 の大学院入試に関する件および判定会議の時刻
 - JABEE の打ち合わせ日時の決定
 - 一級建築士の件

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 2 月 19 日 17 時半～18 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 鵜飼, 片田, 渡邊, 清水, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 金井, 松本, 蔡, 李

議事内容

■卒業論文判定

- ・判定が行われ, 成績に関する報告が行われた.

■卒業論文発表者賞

- ・採点結果および研究室教員からの意見により, 最優秀発表者 1 名, 優秀発表者 4 名が決定した.

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 2 月 26 日 13 時～13 時半

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 鶴飼, 渡邊, 清水, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 松本, 蔡, 李

議事内容

■入試委員会

- ・ 2 月 26 日 10:00 より、平成 19 年度私費外国人留学生特別選抜入学試験が実施された。
- ・ 13:00 からの判定会議において、審議の結果、合否を決定した。
- ・ 大学院外国語入試問題の作成：入試問題の作成につき、今後工学部共通で問題を作成するのを止め、TOEIC および TOEFL を有効利用する方向が検討されている。

■議事録

- ・ これまでの議事録の作成方法を当面維持するが、議題の項目については半井がまとめて連絡をする。

■学科パンフレット

- ・ 次年度用の学科パンフレットの作成をするにあたり、3/5 の会議に旧パンフレットを見ながら修正内容を検討することとなった。

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 3 月 5 日 10 時～11 時 30 分

場 所 建設工学科会議室

出 席 小葉竹、辻、鶴飼、片田、渡辺、若井、及川、伊藤、松本、蔡、李

議事内容

■入試委員会（平成 19 年度前期日程入学試験 判定会議）

- ・平成 19 年度前期日程入学試験の合格者を審議した。

■学習・教育目標の一部改善についての提案

- ・教育成果点検評価委員長である鶴飼教授より、学生の要望や社会の要請をふまえた学習・教育目標の改善提案がなされ、了承された。なお、これは学習・教育目標の内容の大きな変更を伴うものではなく、表現を一部改善するものである、との説明があった。
- ・各目標の冒頭に、学生が一目でわかるようなキーワードを追加する。これは学生の理解を支援するだけでなく、学習・教育目標の内容の具体化を助けることにつながると考えられる。
- ・社会の要請に配慮して、従来学習・教育目標には明示されていなかった"国際性"を項目(E)に加えて強調する。他の目標についても若干の表現の改善を行う。
- ・これらは平成 19 年度入学者用プログラムより適用する。

■他の議題

- ・環境水質科目が 2 年前期から後期に変更することによる、本年度卒業できなかった学生に対するの対策として来年度前期試験を追加することになった。
- ・3 月 6 日の大学院二次入試試験の実施とその後の判定会議についてスケジュールを確認した。
- ・学科内において、各種委員会等の改組・再編について説明した。
- ・教員評価基準作成に関する会議に学科代表として及川先生を推薦する。
- ・A1、A2 教室の暗幕は 19 年度の学科共通経費で修繕することになった。
- ・学科パンフレットにおいては、研究室名や、写真、色の修正することになったが、具体的は見積もりを見ながら修正内容を検討することになった。

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 3 月 6 日 17 時～18 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 渡邊, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 金井, 蔡, 李

議事内容

■研究科小委員会

- ・修士課程の第二次入学試験に関して、合否判定を行った。

■JABEE 受審の準備関連

- ・すでにメール回覧されたように、JABEE 認定継続申請書および変更通知の書面の作成を終えたことが報告された。
- ・また、認定継続申請書と同時提出する書類の中に「実地審査で都合の悪い日程」を申告するものがあるので、これについては学内公式行事のほか各教員の不可避的な予定を記入することが確認された。追って若井より各位へ本件をメール確認することとなった。

■運営委員会（予算詳細作成単位と累積赤字について）

- ・新年度の運営交付金の予算詳細は、これまでどおり研究室単位で作成することとした。
- ・また、累積赤字の削減への強い努力が求められた。

■入試委員会

- ・後期日程入試の判定会議は 3 月 16 日(金)10:00 より実施。

■その他

- ・後期日程入試の判定会議にあわせて月例の教室会議を開催する。

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 3 月 16 日 10 時～12 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 鵜飼, 辻, 片田, 清水, 若井, 及川, 半井, 松本, 金井, 蔡, 李

議事内容

■入試委員会（判定会議）

- ・平成 19 年度後期日程入学試験の合格者を審議した。

■3 年次編入学者の入学前の単位の取り扱いについて

- ・従来より実施してきた、3 年次編入学予定者の高専等での修得済み科目のチェック方式について、現行の「編入学予定者 学習履歴点検書」の様式の改善を提案し、3 年次編入学予定者の入学前の単位の取り扱いについて再確認を行った。

■進級判定会議

- ・例年通り 3 月 23 日 10 時から会議室で行う。
- ・4 年進級生数が、研究室によって大きな偏りがありうる。そのような場合でも、平成 19 年度の運営交付金の配分は、従来通り研究室均等割りとする。

■工学部教職課程委員会

- ・平成 19 年度から、卒業に必要な科目のほかに所定の科目を履修することにより、学部学生が高等学校教諭一種免許状（理科及び工業）、博士前期課程の学生が高等学科教諭専修免許状（工業）が取得可能であることの報告があった。
- ・一年生に、教員免許を目指す学生は一年次に教養教育科目の「日本国憲法」を必ず履修することを新入生ガイダンスのとき、説明する。

■学科行事・委員等

- ・18 年度修了証書等の学科授与について
今年度は謝恩会の席上で証書の授与等を行わない。修論・卒論の優秀発表者のみ表彰を行う。
各人の証書等の受取は 23 日以降事務室において個人的に行う。
- ・平成 20 年度入試試験の物理採点者
学科から 1 名推薦した。
- ・平成 19 年度インターンシップの学科担当者
半井先生にお願いした。
- ・次回教室会議等予定
3 月 23 日、10 時より進級判定会議
4 月 10 日、16 時より定例教室会議

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 3 月 23 日 10 時～12 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹、鶴飼、辻、渡辺、若井、伊藤、及川、松本、金井、蔡、李

議事内容

■進級判定

- ・判定基準に従い、進級者、留年者を決定した。留年生が一部の研究室に偏ることを避けるために、対策を考えることになった。

■JABEE 受審関連

- ・4 月 20 日(金)9 時から JABEE 受審関連の教室会議を開催することとなった。

■教員評価

- ・教員評価基準の策定における基準（案）について説明があった。

■授業改善

- ・18 年度の 2 年生と 3 年生の後期授業の授業改善アンケート結果についての学生との意見交換会を 4 月 10 日 15:30 より会議室にて行うことになった。

■研究室配属

- ・進級判定の結果 19 年度の 4 年生が極端に少なくなる 2 つの研究室について、これらの研究室に配属変更を希望するものがあるか否かの調査は 4 月に行う。

■H18 年度進路・就職状況

- ・H18 年度修了生・卒業生の最終的な進路・就職先等を報告した。

■研究科小委員会から工学研究科教務委員会へ変更に伴うメンバーについて

- ・平成 19 年度からの工学研究科教務委員会へのメンバーを、従来の教授に限るから Do 合准教授も加わることで検討することにつき、学科の承認を得た。

平成 18 年度 建設工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 3 月 28 日 10 時～11 時

場 所 建設工学科会議室

出席者 小葉竹, 鵜飼, 渡邊, 及川, 半井, 松本, 金井

議事内容

■ 19 年度からの推薦入試における評価方法について